



2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
コード番号 7375 URL <https://www.r-inverse.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 越智 晶
問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 蓮池 智嗣 TEL 03（6281）4879
半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期中間期	2,105	0.3	123	△5.2	106	△7.2	93	△2.9
2025年6月期中間期	2,099	13.4	129	269.8	114	455.2	95	522.6

（注）包括利益 2026年6月期中間期 93百万円（△2.9％） 2025年6月期中間期 95百万円（522.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	27.83	—
2025年6月期中間期	28.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年6月期中間期	3,495	369	8.7	91.03
2025年6月期	3,461	274	6.1	63.20

（参考）自己資本 2026年6月期中間期 304百万円 2025年6月期 211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00			
2026年6月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,800	17.9	380	108.5	330	118.2	300	105.4	89.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期中間期	3,348,421株	2025年6月期	3,348,421株
② 期末自己株式数	2026年6月期中間期	137株	2025年6月期	137株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年6月期中間期	3,348,284株	2025年6月期中間期	3,348,284株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当社グループは、引き続き既存事業でコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。

当期1Qから取組んできた成長施策が奏功し中期経営計画の達成に向けて着実に進展しており、3Q以降の成長加速に向けた取組みを進めております。

素材ビジネスにおいては、大手顧客を中心にカーペットタイルのリサイクルが浸透しつつあり、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要は引き続き高い状況が続いております。同時に、原料となる使用済みカーペットタイルの回収量も増加しております。また、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は、製品の高品質化への取組みを強化し付加価値向上を進めております。更に、三菱ケミカルの油化ケミカルリサイクル事業開始に伴い、その原料となるポリオレフィン系廃プラスチックの供給を進めてまいります。また、社会的に資源循環へ取組みが加速していることから、資源循環における当社グループのノウハウへの引き合いが増加しており顧客と連携した再資源化技術の開発を進め収益増加を進めてまいります。

資源ビジネスにおいては、顧客の課題解決に取組む提案型営業を指向すると同時に、オペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行いながらDX化等を進めたことで生産性が向上しており、安定的に利益を確保しております。また、廃プラの収集・再資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,105,322千円（前年同期比0.3%増）、営業利益123,160千円（前年同期比5.2%減）、経常利益106,158千円（前年同期比7.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益93,170千円（前年同期比2.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

また、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

脱炭素、資源循環の流れを受けたリサイクルカーペットタイルの需要増加に伴い使用済みカーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要が増加しております。大手顧客を中心にカーペットタイルのリサイクルが浸透しつつあり、カーペットタイルの水平循環量は拡大しております。その結果、売上高は前年同期比で増収増益となりました。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は、最終製品の仕様を踏まえた高品質化を進め付加価値の向上を図っており、特にアパレルや成型パーツ向け等の複数の業界との取引の増加を進めておりますが、前年同期比で減収となっております。今後は、三菱ケミカル株式会社が実施する油化ケミカルリサイクルへの廃プラ原料供給のサプライチェーン構築を進めており、素材ビジネスの事業領域拡大を進めてまいります。

この結果、売上高は665,392千円（前年同期比3.5%増）となり、セグメント利益は111,799千円（前年同期比1,841.6%増）となりました。

② 資源ビジネス

顧客の課題解決に取組む提案型営業により大口顧客の獲得を進めると同時にオペレーションの見直しやリソースの最適化を行い、産業廃棄物処理事業で過去最高水準の利益水準を維持しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と資源循環を推進するサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化の推進による廃棄物処理状況の可視化など顧客の課題解決を図る取組みが奏功し、既存顧客からの受注獲得に加え新規大口顧客からの受注も増加しており、原状回復工事の受注獲得も含め受注件数は前年同期対比で大幅に増加しております。

また、鹿島建設、竹中工務店、日本通運、三菱ケミカル、あおぞらの各社と協働で環境省公募事業「プラスチック資源循環に関する先進的社会的実装モデル形成支援事業」に参画し、建設系廃プラを収集する仕組みの構築を進めており、廃プラの資源循環を加速しております。

この結果、売上高は1,483,922千円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は326,215千円（前年同期比7.9%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,467,786千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ34,847千円増加しております。これは主として現金及び預金が117,811千円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が101,044千円、商品及び製品が53,065千円増加したことによるものです。

当中間連結会計期間末における固定資産は2,028,167千円となり、前年度末と比べ879千円減少しております。これは、主として有形固定資産が1,799千円減少したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,127,312千円となり、前年度末と比べ19,166千円増加しております。これは主として未払金が55,029千円増加、短期借入金が50,000千円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間末における固定負債は1,998,824千円となり、前年度末と比べ80,609千円減少しております。これは、主として長期借入金が95,964千円減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は369,817千円となり、前年度末と比べ95,410千円増加しております。これは、主として利益剰余金が93,170千円増加したことによるものです。

（3）キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、560,964千円（前年同期比23.5%減）となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は102,121千円（前年同期に得られた資金は331,185千円）となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益105,597千円、減価償却費106,760千円及び売上債権の増加額101,044千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出された資金は42,194千円（前年同期に支出された資金は99,504千円）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出35,726千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出された資金は177,739千円（前年同期に得られた資金は3,530千円）となりました。

これは主として短期借入金の返済による支出80,000千円、長期借入れによる収入190,000千円及び長期借入金の返済による支出281,500千円によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年8月14日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	692,215	574,403
受取手形、売掛金及び契約資産	449,688	550,733
商品及び製品	143,922	196,987
仕掛品	15,860	26,788
原材料及び貯蔵品	59,881	61,398
前払費用	34,747	38,614
未収還付法人税等	4,443	—
その他	33,413	20,512
貸倒引当金	△1,233	△1,652
流動資産合計	1,432,939	1,467,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,321,665	1,325,334
機械装置及び運搬具	1,319,104	1,337,871
工具、器具及び備品	113,960	114,052
土地	520,100	520,100
リース資産	312,035	360,381
建設仮勘定	—	10,774
減価償却累計額	△1,833,876	△1,917,323
有形固定資産合計	1,752,989	1,751,190
無形固定資産	29,473	29,695
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,098
繰延税金資産	81,017	79,470
敷金及び保証金	160,588	162,942
その他	17,128	16,921
貸倒引当金	△32,150	△32,150
投資その他の資産合計	246,583	247,281
固定資産合計	2,029,046	2,028,167
資産合計	3,461,986	3,495,954

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	178,055	195,451
短期借入金	80,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	548,908	553,372
リース債務	63,234	70,458
未払金	62,121	117,150
未払費用	106,255	87,364
未払法人税等	15,180	12,938
未払消費税等	30,862	47,859
その他	23,528	12,716
流動負債合計	1,108,145	1,127,312
固定負債		
長期借入金	1,782,691	1,686,727
リース債務	106,955	126,528
資産除去債務	158,504	158,970
その他	31,283	26,598
固定負債合計	2,079,434	1,998,824
負債合計	3,187,580	3,126,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,885	162,885
資本剰余金	203,768	203,768
利益剰余金	△154,793	△61,623
自己株式	△251	△251
株主資本合計	211,609	304,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1
新株予約権	62,796	65,036
純資産合計	274,406	369,817
負債純資産合計	3,461,986	3,495,954

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,099,150	2,105,322
売上原価	1,411,208	1,367,531
売上総利益	687,942	737,790
販売費及び一般管理費	558,083	614,630
営業利益	129,859	123,160
営業外収益		
受取利息	77	464
保険解約返戻金	15	622
その他	2,222	544
営業外収益合計	2,315	1,632
営業外費用		
支払利息	17,547	18,243
その他	266	390
営業外費用合計	17,813	18,633
経常利益	114,360	106,158
特別利益		
固定資産売却益	578	178
新株予約権戻入益	1,984	571
特別利益合計	2,563	750
特別損失		
固定資産除却損	4,643	213
固定資産売却損	—	1,098
特別損失合計	4,643	1,311
税金等調整前中間純利益	112,280	105,597
法人税、住民税及び事業税	17,871	10,880
法人税等調整額	△1,576	1,546
法人税等合計	16,294	12,427
中間純利益	95,986	93,170
親会社株主に帰属する中間純利益	95,986	93,170

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年12月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年12月31日）
中間純利益	95,986	93,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1
その他の包括利益合計	—	1
中間包括利益	95,986	93,171
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	95,986	93,171
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	112,280	105,597
減価償却費	112,640	106,760
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,672	418
受取利息及び受取配当金	△77	△465
支払利息	17,547	18,243
固定資産除売却損益 (△は益)	4,064	1,132
新株予約権戻入益	△1,984	△571
売上債権の増減額 (△は増加)	28,193	△101,044
棚卸資産の増減額 (△は増加)	17,668	△65,510
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,117	17,395
未払金の増減額 (△は減少)	7,230	41,748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,049	23,455
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,678	1,709
その他	△8,835	△19,704
小計	329,901	129,164
利息及び配当金の受取額	77	465
利息の支払額	△17,623	△18,246
法人税等の支払額	△11,373	△13,706
法人税等の還付額	30,203	4,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,185	102,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△97,944	△35,726
有形固定資産の売却による収入	5,179	1,054
無形固定資産の取得による支出	△5,185	△2,441
敷金及び保証金の差入による支出	△2,212	△6,590
敷金及び保証金の回収による収入	660	1,000
その他	—	509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,504	△42,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	30,000	30,000
短期借入金の返済による支出	—	△80,000
長期借入れによる収入	260,000	190,000
長期借入金の返済による支出	△243,931	△281,500
リース債務の返済による支出	△35,389	△36,239
割賦債務の返済による支出	△7,149	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,530	△177,739
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	235,211	△117,812
現金及び現金同等物の期首残高	498,518	678,776
現金及び現金同等物の中間期末残高	733,729	560,964

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年7月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	608,787	1,490,363	2,099,150	2,099,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,003	488	34,492	34,492
計	642,791	1,490,851	2,133,643	2,133,643
セグメント利益	5,758	354,155	359,914	359,914

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	359,914
セグメント間取引消去	△390
未実現利益の調整額	△368
全社費用（注）	△229,296
中間連結損益計算書の営業利益	129,859

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年7月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	622,036	1,483,286	2,105,322	2,105,322
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,356	636	43,992	43,992
計	665,392	1,483,922	2,149,314	2,149,314
セグメント利益	111,799	326,215	438,014	438,014

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	438,014
セグメント間取引消去	740
未実現利益の調整額	△473
全社費用（注）	△315,121
中間連結損益計算書の営業利益	123,160

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。